

ドクターカー活動事例 ② 医療機関への出場

平成 29 年 8 月〇日 48 歳女性

主訴：心肺停止〔目撃あり心肺停止〕

現病歴：市内〇〇病院入院中

入浴後に意識消失、顔面蒼白、呼吸困難症状が出現した。その後、居室ベッド上で看護師付き添いのもと経過観察を行うも、15 分後心肺停止、一次救命処置を開始し他のスタッフにより 119 番通報

活動概要

- 10:47 横浜市消防局司令センターよりドクターカーの出動要請となった。
- 10:51 ドクターカー出場 医師 2 名〔研修医 1 名〕・看護師 1 名・院内救急救命士 1 名
〔該当医療機関までの距離：約 8 km／到着時間：12 分〕
- 11:03 〇〇病院到着 救急隊に合流、呼吸管理引継ぎ
救急隊と協働し蘇生活動実施
横浜医療センターへの状況報告・情報伝達〔受入確認は通常プロトコル通り〕
〔救命指導医の指示により、現場医師の指示下での活動指示あり〕
- 11:06 医師・看護師同乗のもと横浜医療センターへ搬送を開始

ドクターカースタッフ活動

- 救急隊と合流し、救急車内における医行為の実施
〔現場に医師がいることで、消防局救命指導医からの指示系統を現場医師へ移譲〕
- 受け入れ医療機関への詳細情報伝達
- 患者搬送中の患者管理

要点

医療機関入院中患者の心肺停止症例であった。

現場に医師がいたものの、蘇生に対する高度救命処置がなされていなかった。(専門外)